

第 80 回

定時株主総会招集ご通知

開催日時 2024年3月26日(火曜日)

午前10時(受付開始 午前9時)

開催場所 名古屋国際会議場

センチュリーホール

名古屋市熱田区熱田西町1番1号

※センチュリーホールが満席となった場合は、第2会場をご案内させていただきますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

第2会場では、議場の様子を中継映像でご覧いただけます。

※株主ではない代理人および同伴の方など、議決権を行使できる株主以外の方は、ご入場いただけませんのでご注意ください。(お身体の不自由な方の同伴等は除きます。)

目次

■ 第80回定時株主総会招集ご通知	2
(ご参考)	
80期(2023年度)を振り返って	7
トップが語る	9
ボードメンバーが語る	13
社外取締役・監査等委員である取締役からの提言	15
よくあるご質問にお答えします!	17
株主総会参考書類	
第1号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く)6名選任の件	19
第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件	23
第3号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件	27
■ お知らせ／株主メモ	29
■ IRインフォメーション	30

パソコン・
スマートフォン・
タブレット端末からも
ご覧いただけます。



<https://s.srdb.jp/2811/>

カゴメ株式会社

証券コード:2811



ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本年1月の能登半島地震の被害に遭われた皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の日も早い復興をお祈りいたします。

第80回定時株主総会を3月26日(火)に開催する運びとなりましたので、ここに「招集ご通知」をお届けいたします。

本紙面では、株主総会の議案とカゴメグループの企業活動について掲載しておりますので、ご一読いただきますようお願い申し上げます。

カゴメは、創業以来125年にわたり、自然の恵みである野菜と果実のおいしさや栄養を活かしたもののづくりを強みとして、お客さまの健康や豊かな食生活に貢献してまいりました。

2016年からは「食を通じて社会課題の解決に取り組み、持続的に成長できる強い企業になる」ことを目指して、10年間にわたり3つの中期経営計画を進めてきました。2025年の目標達成に向けた総仕上げとして、2022年から開始した第3次中期経営計画を着実に実行してまいります。

日本や世界が抱える社会課題である「健康寿命の延伸」「農業振興・地方創生」「持続的な地球環境」に事業活動を通じて取り組み、社会とカゴメの持続的成長を実現してまいります。

引き続き、株主の皆さまの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年3月 代表取締役社長

山口 聡

企業理念

感謝

私たちは、自然の恵みと多くの人々との出会いに感謝し、自然生態系と人間性を尊重します。

自然

私たちは、自然の恵みを活かして、時代に先がけた深みのある価値を創造し、お客様の健康に貢献します。

開かれた企業

私たちは、おたがいの個性・能力を認め合い、公正・透明な企業活動につとめ、開かれた企業を目指します。

感謝
カゴメグループ

株主の皆さまへ

証券コード2811
2024年3月4日
(電子提供措置の開始日2024年2月15日)

名古屋市中区錦三丁目14番15号

カゴメ株式会社

代表取締役社長 山口 聡

第80回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第80回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。なお、株主総会前の3月8日(金)に有価証券報告書を開示予定ですので、あわせてご覧ください。

本株主総会の招集に際しては電子提供措置をとっており、インターネット上の下記ウェブサイトに電子提供措置事項を掲載しております。

当社ウェブサイト <https://www.kagome.co.jp/company/ir/events/meeting/>

また、上記のほか、インターネット上の下記ウェブサイトにも掲載しております。

東京証券取引所ウェブサイト

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

上記のウェブサイトアクセスして、当社名又は証券コードを入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択のうえ、ご覧ください。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

カゴメ株式会社



東京証券取引所



当日ご出席されない場合は、インターネット、または同封の「議決権行使書」の郵送によって議決権を行使することができますので、お手数ながら「株主総会参考書類」をご検討いただき、3ページの「議決権行使のお願い」に従いまして議決権を行使いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

- | | | |
|------------|-------|---|
| 1. 日 | 時 | 2024年3月26日(火曜日) 午前10時(受付開始 午前9時) |
| 2. 場 | 所 | 名古屋市中区熱田区熱田西町1番1号 名古屋国際会議場 センチュリーホール
株主総会当日の議場の模様は、動画によるライブ配信を予定しております。株主の皆さまはウェブサイトにてご覧いただけますので、5ページから6ページをご確認の上、ご利用をご検討ください。 |
| 3. 会議の目的事項 | | |
| 報告事項 | | 1. 第80期(自2023年1月1日 至2023年12月31日)事業報告、連結計算書類ならびに計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件 |
| 決議事項 | 第1号議案 | 取締役(監査等委員である取締役を除く)6名選任の件 |
| | 第2号議案 | 監査等委員である取締役3名選任の件 |
| | 第3号議案 | 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件 |

以 上

◎書面交付請求された株主様へご送付している書面には、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、下記の事項を記載しておりません。したがって、当該書面は監査報告を作成するに際し、監査等委員会及び会計監査人が監査をした書類の一部であります。

「企業集団の現況に関する事項」「新株予約権等に関する事項」「会計監査人の状況」「会社の体制および方針」「連結持分変動計算書」「連結注記表」「株主資本等変動計算書」「個別注記表」

修正が生じた場合について

電子提供措置事項に修正が生じた場合は、掲載している各ウェブサイトに修正内容を掲載させていただきます。

議決権行使のお願い

当社の経営にご参加いただける株主さまの大切な権利です!

事前に議決権行使をされる場合



スマートフォンなら
QRコードが便利♥



ネットで簡単!! インターネットによる議決権の行使

パソコンまたはスマートフォンから議決権行使サイト (<https://evote.tr.mufig.jp/>) にアクセスし、同封の議決権行使書用紙に記載された「ログインID」および「仮パスワード」をご利用いただき、画面の案内に従って、議案に対する賛否をご入力ください。



行使期限

2024年
3月25日(月)
午後5時30分
まで受付



ここを書いて
ポストに投函
するだけです!



郵送による議決権の行使

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示の上、ご返送ください。なお、議案について賛否の表示がない議決権行使書用紙が提出された場合は、会社提案に「賛成」の意思表示があったものとして取り扱わせていただきます。

行使期限

2024年
3月25日(月)
午後5時30分
到着分まで

株主総会にご来場いただく場合



お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

また、本定時株主総会招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。

ご出席いただいた株主さまには、お帰りの際にお試し品(商品)を準備しております。

開催日時

2024年
3月26日(火)
午前10時
(午前9時開場)

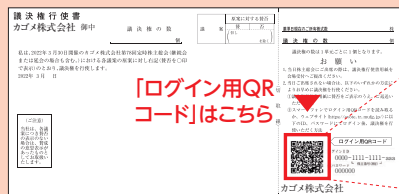
※株主ではない代理人および同伴の方など、議決権を行使できる株主以外の方は、ご入場いただけませんのでご注意ください。(お身体の不自由な方の同伴等は除きます。)

インターネットにより議決権を行使される場合のお手続きについて

インターネットによる議決権行使は、パソコンまたはスマートフォンから当社の指定する議決権行使サイト(https://evote.tr.mufg.jp/)にアクセスしていただくことによるのみ実施可能です。



スマートフォンの場合 QRコードを読み取る方法



議決権行使書副票(右側)



スマートフォンでの議決権行使は、「ログインID」「仮パスワード」の入力が不要です！
同封の議決権行使書副票(右側)に記載された「ログイン用QRコード」を読み取りいただくことで、ログインいただけます。

「ネットで招集」なら
QRコードが簡単に読み取れます！



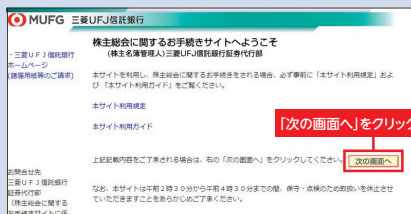
こちらを押すと「読取」が「移動」ボタンが選択できます。「読取」を選択すると自動でカメラが起動しますので、同封の議決権行使書副票(右側)に記載された「ログイン用QRコード」を読み取ってください。



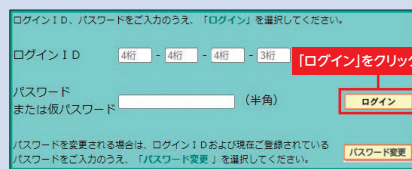
ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使サイトのご利用方法

① 議決権行使サイトにアクセスする



② お手元の議決権行使書用紙の右下に記載された「ログインID」および「仮パスワード」を入力



以降画面の案内に沿って賛否をご入力ください。

ご注意事項

- インターネットによる議決権行使は、株主総会前日(2024年3月25日(月))の午後5時30分まで受付いたします。
- 郵送とインターネットにより、二重に議決権行使をされた場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきます。
- インターネットにより、複数回数にわたり議決権行使をされた場合は、最終に行われた議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきます。

システム等に関するお問い合わせ(ヘルプデスク)

三菱UFJ信託銀行(株) 証券代行部

0120-173-027 (通話料無料)

受付時間：午前9時から午後9時まで

株主総会ライブ配信のご案内

配信日時

2024年3月26日(火)午前10時から株主総会終了時刻まで

※配信ページは株主総会開始時刻の30分前
(午前9時30分)頃よりアクセス可能です。

株主総会ライブ配信のご視聴ステップ

STEP

1. ご準備いただくもの

同封の議決権行使書裏面に記載されている

ログインID(15桁の数字)、パスワード(6桁の数字)です

※書面(郵送)による事前の議決権行使を希望される場合は、
ログインIDとパスワードを確認できるようにするために、
議決権行使書の副票をお手元にご用意ください。



同封の議決権行使書裏面(イメージ)



ログインID/パスワード

QRコード

STEP

2. 株主総会オンラインサイト

(Engagement Portal)にアクセス!

<https://engagement-portal.tr.mufg.jp/>

※1つのIDで1つの機器からしかアクセスできません。

パソコン



ログインID/パスワードを
入力し、サイトにログイン

スマートフォン



議決権行使書裏面に記
載されたQRコードを読
み取ってアクセスするのが
便利です。ログインIDと
パスワードの入力が不要
です。

STEP

3. 視聴してみましょう!

パソコンの株主さま認証画面(ログイン画面:画面はイメージです。
実際の画面とは異なる場合がございます)



①
ログインID/パスワードを入力
(入力内容はステップ1をご参照)

②
ご利用規約に同意の上、
「ログイン」をクリック



③
「当日ライブ視聴」をクリック

※議決権行使WEBサイトでパスワード
を変更した後も、ライブ配信ご視聴の
ログインは、議決権行使書裏面に記
載のパスワードをご利用ください。

ご留意事項

- ☐ ライブ配信のご視聴は、会社法上、株主総会への出席とは認められておりませんので、当日の決議に参加することはできません。事前に議決権行使をお済ませください。
また、質問や動議を行うことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ☐ 何らかの事情により、当日ライブ配信を行うことができなかった場合、当社ホームページにてお知らせいたします。
- ☐ ライブ配信の視聴は、株主さまご本人のみに限定させていただきます。
- ☐ ライブ配信の撮影・録画・録音・保存およびSNSなどでの公開は固くお断りいたします。
- ☐ ご視聴いただくための通信料金などは、株主さまのご負担となります。
- ☐ ライブ配信終了後、本株主総会の模様を録画映像にてご視聴いただけます。
後日、当社ホームページ(<https://www.kagome.co.jp/company/ir/events/meeting/>)に掲載いたします。
その際、質疑応答部分は録画映像に含まれませんので、資料でご確認ください。
- ☐ ご使用の端末（機種、性能など）やインターネットの接続環境（回線状況、接続速度など）により、映像や音声に不具合が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ☐ 株主総会オンラインサイトの推奨環境は当社ホームページ(<https://www.kagome.co.jp/company/ir/events/meeting/>)をご参照ください。

事前のご質問を「KAGOMAIL」で受け付けます

「KAGOMAIL」にご登録の株主さまは、3月4日(月)配信の「KAGOMAIL」からご質問をご登録いただけます。

※事前にご登録いただいたご質問のうち、多くの株主さまが高い関心を示されたとと思われるものについて、株主総会当日に回答させていただきます。なお、いただいたご質問すべてに必ず回答することをお約束するものではありません。また、回答に至らなかったご質問へ個別に対応することはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。これらのご質問につきましては、貴重なご意見として今後の参考にさせていただきます。

株主総会終了後に皆さまの健康にお役立ていただける情報を配信いたします! (約15分)

株主総会ライブ配信終了後に、株主総会オンラインサイト上で好評の「カゴメ健康セミナー」を続けて配信いたします。ぜひご視聴ください。

「野菜と生活 管理栄養士ラボ[®]」より『野菜摂取でナトリウムバランスを整えよう!』をお届けします!



「健康セミナー」配信イメージ

ライブ配信に関するお問い合わせ先

ご不明な点は、

三菱UFJ信託銀行(株)までお問い合わせください。

 0120-676-808 (通話料無料)

受付時間

3/25(月)まで：土日祝日を除く平日午前9時～午後5時

3/26(火)：株主総会当日 午前9時～株主総会終了まで

80期 (2023年度) を振り返って

経営環境と業績

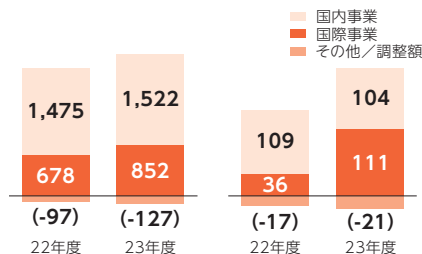
ウクライナ紛争の長期化やさらなる円安の進行、自然災害などが重なったことで、さまざまな原材料・エネルギーコストが急激に上昇し、その終息が見通せない中で迎えた2023年。これまでに経験したことのない原価上昇に対して、国内事業・国際事業のそれぞれにおいて、ほぼ全商品の価格改定と需要回復に両輪で取り組みました。国際事業は、トマトペースト販売価格の上昇やフードサービス企業向けの販売好調により、売上収益が大きく拡大し、連結実績における構成比が高まりました。

その結果、連結売上収益は前期比9.3%増の2,247億円となりました。事業利益は、原材料価格高騰による国内加工食品事業の減益を国際事業がカバーし、前期比52.1%増の194億円と大幅な増益となりました。それに伴い、営業利益、当期利益も増益となりました。

2023年度連結実績 (IFRS・前期比)	
売上収益	2,247 億円 (前期比 9.3%増)
事業利益	194 億円 (前期比 52.1%増)
営業利益	174 億円 (前期比 37.0%増)
当期利益	104 億円 (前期比 14.4%増)
※親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円未満切捨て)	

売上収益(単位億円)

事業利益(単位億円)



※国内事業は、国内加工食品事業+国内農事業
※各事業別実績は調整前値

KAGOME ニューストピックス 2023

2月

デジタル特典付き社債「愛称：カゴメ 日本の野菜で健康応援債」の発行

3月

健康経営優良法人2023(大規模法人部門 ホワイト500)に認定



食育体験イベント「不思議の畑とトマトの樹」全国5か所で開催

4月

株式会社TWOとカゴメの共同開発商品のプラントベースエッグ「Ever Egg」の常温商品発売で販路拡大



5月

『カゴメオムライススタジアム®2023』決勝戦開催「日本一食べたくなるオムライス」決定

国内事業

原価低減活動などコスト低減に全社一丸となって取り組みました。その上で、2023年2月に300品目を超える価格改定を行うと同時に、価格改定対象商品の需要喚起策としてプロモーション活動を強化する、機能性表示食品の新商品を発売するなど、収益の回復に努めました。

国際事業

これまで取り組んできた収益構造改革の成果が表れたことに加え、外食需要回復と新規顧客開拓によるフードサービス企業向けの販売の拡大、トマトペースト市況高に合わせた機動的な価格改定などにより、増収増益となりました。

事業探索の強化

厳しい経営環境下においても、事業探索を強化しました。株式会社TWOと共同開発したプラントベースの新商品の発売や、ビューティウェルネス市場での需要創造に向けて株式会社資生堂と業務提携基本契約を締結しました。



「カゴメオムライススタジアム®2023」



海外でのトマト加工品製造の様子

7月

- ・サステナビリティサイトの開設
- ・ファン株主を対象とした海外拠点見学ツアー（オーストラリア）を初開催

8月

「2023カゴメトマトジュース プレミアム」発売、4年ぶりに店頭での社員による試飲販促活動を再開



9月

- ・機能性表示食品「野菜一日これ一本 トリプルケア」新発売
- ・資生堂と業務提携基本契約を締結



10月

カゴメを含む食品メーカー6社と物流企業F-LINEが北海道地区の共同配送を再構築

12月

農工連携による取り組みが2023年度 省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」を受賞

「持続的に成長できる強い企業」の実現に向け 国内事業の利益回復とともに 国際事業の成長を加速させます

原材料・エネルギー価格の急激な上昇を受け、2023年は厳しい経営環境となりましたが、全社一丸となって利益改善への取り組みを進めるとともに、価格改定と需要回復の両立に挑みました。その結果、国内・国際事業ともに持続的な成長に向けた課題と展望が見えてきました。この取り組みを活かして、第3次中期経営計画の後半(2024-2025年)は、国内事業の利益回復に注力するとともに、国際事業において持続可能なトマト事業を構築することで成長を加速してまいります。

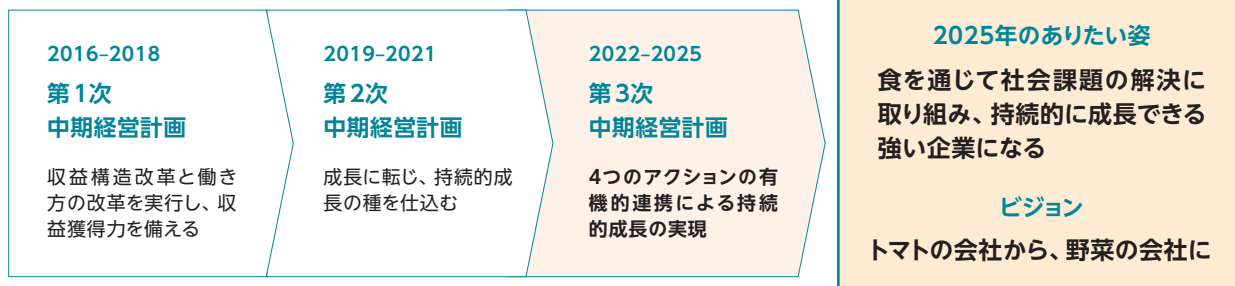
代表取締役社長 山口 聡 やまぐち さとし
1960年12月29日生まれ

特別な思いのある商品とその理由

業務用商品の「冷凍イタリアングリル野菜」です。25年ほど前に開発のためにイタリアに赴き、現地のパプリカやナスなどのおいしさに感動。どうしたらこの味を損なわずに日本で販売できるか、試行錯誤した思い出があります。



10年間の中期経営計画ロードマップ

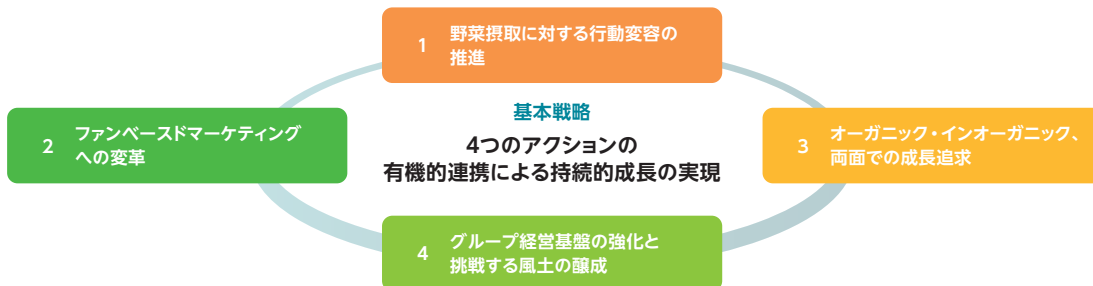


2024-2025年基本方針

カゴメグループは上に掲げたように、これまで3つの中期経営計画を進めてまいりました。2022年から4年間の第3次中期経営計画は、2025年のありたい姿・ビジョンを変えることなく、それらの達成に向けた総仕上げの期間と位置づけています。基本戦略である「4つのアクションの有機的連携による持続的成長の実現」を引き続き推進するとともに、次の10年に向けた課題についても対応してまいります。また、米国のトマト一次加工会社 Ingomar Packing Company, LLC (以下、Ingomar 社) を連結子会社化しました(12ページ参照)。これにより国際事業の成長を加速させるとともに、Ingomar 社の農業基盤を活用し、競争優位性があり、持続可能なトマト加工事業の構築に着手します。

2024年度業績予想

売上収益	2,890 億円 (前期比 28.6%増)
事業利益	170 億円 (前期比 12.7%減)
事業利益率	5.9 % (前期差 2.8%減)



第3次中期経営計画(2022年～2025年) 2024年に取り組むこと

2024年は第3次中期経営計画の後半1年目として、2025年のゴールに向けて着実に歩みを進める年です。厳しい経営環境においても、利益回復に向けた取り組みを中心に、次の成長につながる事業探索を推進していきます。

国内事業

- 継続する原材料価格の上昇に対応するため原価低減やコスト削減を進めるとともに、2024年2月の価格改定後に想定される一時的な需要の落ち込みに対しては需要喚起策を実施し、販売数量の増加を図ります。
- 次なる成長の種につながる事業として、プラントベースフードを中心とした植物性領域を拡大させていきます。
- 2020年から開始した野菜不足ゼロを目指す「野菜をとろうキャンペーン」は5年目を迎え、野菜摂取量を推定できる「ベジチェック[®]」の測定回数は2023年12月末時点で650万回を超えました。今後もスーパーマーケット店頭への設置や企業・団体でも健康増進を目的に使用を増やすなど、身近な場所で野菜摂取意識の向上を喚起していきます。
- カゴメブランドや商品・サービスのファンになっていただく「ファンベースドマーケティング」の活動では、「植育から始まる食育」「カゴメ野菜生活ファーム富士見」などの活動を通して野菜への興味や関心を持つお客さまにご満足いただける体験をご提供し、引き続きカゴメのファンづくりを進めていきます。



「家族」をテーマに「カゴメトマトケチャップ」のCMを公開



ベジチェック測定の様子

経営基盤の強化

- 世界的な農産原料の確保を目指した具体的な取り組みとして、グローバル・アグリ・リサーチ&ビジネスセンターを設置し、環境負荷や気候変動に対応した品種や栽培技術の開発を加速させます。
- お客さまに健康的な食を提案する企業として、従業員の健康を守る「健康経営」を積極的に推進しています。

国際事業

- ・ グローバルに展開しているトマト加工事業は、「種子開発・販売」「加工用トマト栽培」「一次加工」「二次加工」の機能を保有しています。それぞれの機能において顧客ニーズを満たす付加価値が創造できることを強みとしています。
- ・ このバリューチェーンを活かして、事業拠点のある各地域やグローバルに展開しているフードサービス企業、食品製造業などに向けてトマト加工品などを販売しています。
- ・ これらの活動をさらに拡大していくために、2023年10月、国際事業本部を社内カンパニー「カゴメ・フード・インターナショナルカンパニー」へ移行しました。これにより、グループそれぞれの強みを活かしたバリューチェーンの連携の加速、ガバナンスの再構築、グローバル人材の育成の3点を重点的に進めていきます。

TOPICS

2024年1月に、トマト一次加工世界第4位の Ingomar Packing Company, LLC (米国) を連結子会社化

Ingomar社は1983年の設立から約40年にわたり、米国においてトマトペースト・ダイストマトなどトマト一次加工品を製造・販売しています。同社の強みは出資者が加工用トマト農家であることによる安定的かつ盤石な加工用トマトの調達基盤、産地の中に加工拠点がある効率の良さ、グローバル市場におけるコスト競争力、そして、品質と供給の安定性です。

Ingomar社の連結子会社化の目的は以下の3つです。

1. 米国トマト加工事業のバリューチェーンの強化による、米国事業のさらなる成長
2. トマト加工事業のグローバルネットワークの強化による、国際事業全体の成長加速
3. 農業領域の取り組み強化による、競争優位性があり、持続可能なトマト加工事業の構築

加工用トマトの栽培は、気候変動（干ばつなど）への対応に加え、環境負荷の軽減、収穫量の安定化と向上、栽培コストの低減といったさまざまな難しい課題に直面しています。これらに対し、Ingomar社および同社出資パートナーと協働で栽培技術などの開発に取り組み、グローバルな視点でトマト加工事業の競争力強化と持続可能性を高めてまいります。



Ingomar社の契約トマト畑と工場



第3次中期経営計画は3年目となりました。2023年は原価上昇を跳ね返すため、販売・生産の両面で全社一丸となって対策を取ったことにより、利益改善に一定の効果が得られました。2024年はこの流れを加速させ、今中計の目標達成と、食を通じた社会課題の解決による持続的な成長の実現に向け取り組んでまいります。



取締役常務執行役員
国内加工食品事業管掌

小林 寛久 こばやし ひろひさ
1961年7月16日生まれ

野菜摂取推進につながる商品、機会を創出し 国内加工食品事業の利益獲得力を強化

カゴメブランドはお客さまから高い評価をいただいています。品質に対する安全と安心、おいしさへのこだわりだけでなく、食育や健康への提案といった一貫した企業活動にもご支持をいただいていると認識していますが、その企業活動を支えているのは安定した収益構造です。既存顧客を維持しつつ絶え間なく需要を創造するための商品開発、マーケティング戦略、営業の連携を強化し、リソースを戦略的に投資していくことで、国内加工食品事業の利益獲得力を高めてまいります。とりわけ、生活者の野菜摂取推進につながる商品や価値、接点の開発に重点的に取り組みます。これからも、農と健康と暮らしをつなぐ商品やサービスを提供するユニークな企業として、社会へ、お客さまへ、価値をお届けしてまいります。

特別な思いのある商品とその理由

主に業務用として販売されている「野菜だし調味料」です。マーケティングに携わっていた時代にコンセプト作りから開発に関わり、野菜が持つうまみ成分を研究チームの協力を得て分析するなど苦労した分、思い入れがあります。



調達先や従業員にも魅力ある企業となることで お客さまに選ばれ続ける商品を安定してお届けします

異常気象や国際紛争などが続く中での原料調達は困難を伴いますが、産地の分散や契約方法の変更により海外でのトマト原料の調達力は向上しました。一方、国内では人手不足がサプライチェーン全体の課題となっています。お客さまに選ばれる企業であり続けるためには、生産者をはじめとした調達先や企業活動を担う従業員にとっても魅力を感じられる、求心力のある企業となることが重要です。この実現により、安全・安心な品質でおいしい商品を安定的にお届けしてまいります。

特別な思いのある商品とその理由

「野菜生活 100 ベリーサラダ」です。当社で初めて紫にんじんを使用した飲料で、何度も原料の試作を重ねて商品化にこぎつけ、発売後に人気商品となったので思い出深いです。



国内では野菜摂取量の向上に向けた働きかけを、 海外では農業への取り組みを深めて事業成長を図ります

カゴメは事業活動を通じて、人と地球のより良い未来に貢献したいと考えています。第3次中期経営計画の後半はその実現に向けて、国内では商品・情報・体験など、生活者の皆さまとの多様な接点を通じた野菜摂取量向上への働きかけを続け、健康寿命の延伸への貢献と事業成長を目指します。また、海外では農業への取り組みを深めてサステナブルで強固な事業基盤を作るとともに、世界各地でトマト事業を展開するネットワークを活用し、さらなる事業成長につなげてまいります。

特別な思いのある商品とその理由

「カゴメ野菜ジュース」です。大学時代一人暮らしの食生活を心配し、両親が送ってくれたことがきっかけで頻繁に飲むように。カゴメを就職先を選ぶ決め手となった商品です。



社外取締役 **佐藤 秀美**
さとう ひでみ

魅力ある商品の開発・提供を通じて 人々の健康増進に貢献できる経営基盤を

厳しい経営環境にあってもカゴメは利益拡大を目指し、「トマトの会社から、野菜の会社」に向けて邁進しています。農産物を原料とするカゴメ商品の摂取量の増加は人々の野菜摂取量が増加したことを意味し、それがひいては健康寿命の延伸につながります。カゴメが「野菜の会社」となり利益拡大を図ることは、人々の健康増進にも貢献するのです。カゴメは現在、国内では需要喚起策による利益回復に取り組む一方で、新領域での商品開発・提供を進めています。そして、国際事業では成長基盤を整えるとともにイノベーション創出に向けた組織を編成し、成長の種の探索を続けています。これらを着実に利益に結び付けるため、取締役会では商品の開発・提供を基点として、さかのぼった経営基盤の強化に注目していきます。



社外取締役 **荒金 久美**
あらかね くみ

提供価値を明確に示し よりグローバルな視点での戦略の強化を

3年におよぶコロナ禍や大きな世界情勢の変化を経験したことにより、「カゴメが目指すべき成長はどうあるべきか」「カゴメの強みをどのように活かして、目指す未来の実現につなげるべきか」に向けた議論が、より一層深まっているように思います。第3次中期経営計画の前半が終了したことを受け、その後半では、経営資源の配分、事業ポートフォリオ、原料調達体制などの面で、よりグローバルな視点での戦略強化が必要であると考えています。持続的に成長できる企業になるためには、資本効率とESGを両立させながらどのような価値を提供できるかを示すことが大変重要です。取締役会において建設的かつ実質的な審議を深め、成長戦略への効果的な後押しができるよう、尽力したいと思っています。



新任取締役
常勤監査等委員
候補

高野 仁
たかの ひとし

国際事業を中心とした成長の機会を支える ガバナンスを構築したい

カゴメは変化対応力や需要創造力といった強みを活かすことで、厳しい経営環境を乗り越えようとしています。一方で新興国における中間層の急増は、グローバルピザチェーンなどを急成長させ、ピザソース・パスタソースなどトマト加工品の需要拡大が見込まれています。これはカゴメにとって大きなチャンスです。この変化は国際事業の成長機会となる一方で、拡張する事業に対応したコーポレートガバナンスの拡充が課題であるとの認識のもと、その構築に尽力いたします。



社外取締役
監査等委員

遠藤 達也
えんどう たつや

国際事業のガバナンスへの目配りをしっかりと行い さらなる成長を後押し

第3次中期経営計画2年目の2023年2月、カゴメは前年から続く未曾有のコスト高により国内加工食品事業で多くの商品の価格を改定しました。その後の需要喚起策によって販売数量は年度後半にかけて回復傾向にあり、成長の兆しが見えてきました。私は第3次中期経営計画後半の2年間に於いて、国際事業のさらなる成長を支えるべく外国子会社のガバナンス状況にしっかりと目を配るとともに、国内加工食品事業の「深化と探索」を後押しして、力強い成長を支えてまいります。



社外取締役
監査等委員

山神 麻子
やまがみ あさこ

国際事業のカンパニー化を グローバル企業として進化する契機に

変化が激しい経営環境においても国際事業が成長をけん引しています。山口社長の海外子会社の視察に同行し、現地の声を聞く中で、事業拡大に向けたグローバル戦略や、知見を受け継ぎ発展させる人材育成が急務だと感じました。2023年10月の国際事業のカンパニー化は、その実現に向けた体制整備であり、グループ全体をグローバル企業へと進化させる契機となると期待しています。カンパニー外とのコミュニケーションや人材交流に対し、取締役会も尽力したいと考えています。

Q&A よくあるご質問にお答えします!

Q1. カゴメの国際事業について教えてください。

国際事業は、農業生産、加工、販売事業などを展開しています。商品はトマトペーストなどを製造する一次加工品と、トマトペーストを原材料としてトマトソース、ピザソースなどを製造する二次加工品に大別されます。国際事業の主な顧客は調味料メーカーや外食企業などで、北米、ヨーロッパ、オーストラリアなどでB to B(企業間取引)を展開しています。

【世界各地に広がる拠点】

日本で培ったトマト栽培や加工技術を世界各地の地域に合った形で活かし、ビジネスを展開しています。



Q2. 持続可能な社会の実現に向けた、 最近の取り組みについて教えてください。



サステナビリティサイト：
<https://www.kagome.co.jp/company/sustainability/>

カゴメグループは、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、企業価値の向上を目指しています。2023年1月に「サステナビリティ基本方針」を定め、7月には当社企業情報サイト内に「サステナビリティページ」を開設し、取り組みを積極的に発信しています。

2023年は、「2024年問題」など社会課題への対応として、物流に関する取り組みが進みました。食品物流を取り巻く環境は、トラックドライバー不足、燃料価格の高騰、CO₂排出量削減をはじめとする環境保全への対応など、その課題は一層深刻になっています。当社は2015年に、食品メーカー6社でF-LINEプロジェクトを立ち上げました。2019年には共同物流会社を発足させ、持続可能な物流体制の構築に向けて取り組んできました。これらの活動の一環として、2023年7月からプロジェクト参画メーカーと共同でリレー中継輸送を開始、10月からは北海道での共同配送の仕組みを再構築し、物流効率の改善とCO₂排出量削減を目指します。

Q3. 株主還元について 教えてください。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題の1つとして認識しており、2022年から2025年までの第3次中期経営計画期間の株主さまへの還元は「連結業績を基準に、総還元性向40%」を目指すこととし、併せて「年間配当金額38円以上を安定的に現金配当する」の方針としています。当期(80期)の配当は、1株当たり41円とすることといたしました。また、次期(81期)の配当は、1株当たり42円の普通配当に、創業125年という節目の年に事業が大幅に拡大することを鑑みて、1株当たり10円の記念配当を加えた52円とさせていただく予定です。

【次回(2025年3月開催)】定時株主総会会場変更のお知らせ

定時株主総会の現会場である名古屋国際会議場は改修工事のため、臨時休場となります。それに伴い、2025年3月開催の第81回定時株主総会は、Niterra(ニテラ)日本特殊陶業市民会館で開催予定です。

第1号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く)6名選任の件

取締役(監査等委員である取締役を除く。以下本議案において同じ。)5名全員は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、社外取締役2名を含む取締役6名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名	会社における地位および担当	取締役会への出席状況
1	山口 聡 やまぐち さとし 再任	代表取締役社長	100% (14回中14回出席)
2	小林 寛久 こばやし ひろひさ 再任	取締役常務執行役員 国内加工食品事業管掌	100% (14回中14回出席)
3	葉色 義久 はいろ よしひさ 新任	執行役員生産調達本部長	—
4	奥谷 晴信 おくや はるのぶ 新任	執行役員経営企画室長 兼 米国成長戦略プロジェクト室長	—
5	佐藤 秀美 さとう ひでみ 再任 社外	社外取締役	100% (14回中14回出席)
6	荒金 久美 あらかね くみ 再任 社外	社外取締役	100% (14回中14回出席)

候補者番号 1

山口 聡 やまぐち さとし

●生年月日 1960年12月29日

再任



●所有する当社株式の数
17,000株

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1983年 4月	当社入社	2015年10月	当社イノベーション本部長
2003年 4月	当社業務用ビジネス・ユニット部長	2018年10月	当社野菜事業本部長
2010年 4月	当社執行役員	2019年 3月	当社取締役常務執行役員
2010年 4月	当社業務用事業本部長	2020年 1月	当社代表取締役社長(現任)

取締役候補者の選任理由

山口聡氏は、代表取締役社長として、当社のグループ経営を担っており、ビジョンや中期経営計画に基づき、「野菜の会社」の実現に向け事業を牽引しております。これらの実績と過去に業務用事業部門、研究部門における豊富な経験を有していることを踏まえ、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現のために適切な人材として、引き続き取締役として選任をお願いするものです。

候補者番号

2

こばやし ひろひさ
小林 寛久

●生年月日 1961年7月16日

再任



- 所有する当社株式の数
3,800株

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1984年 4月	当社入社	2014年 1月	当社コンシューマー事業本部長
2005年11月	台湾可果美股份有限公司総経理	2015年10月	当社常務執行役員
2006年10月	当社乳酸菌ビジネス・ユニット 部長(マーケティング担当)	2015年10月	当社マーケティング本部長
2009年 4月	当社大阪支店家庭用営業部長	2018年10月	当社営業本部長
2014年 1月	当社執行役員	2019年 3月	当社取締役常務執行役員(現任)
		2023年10月	当社国内加工食品事業管掌(現任)

取締役候補者の選任理由

小林寛久氏は、取締役常務執行役員国内加工食品事業管掌として、国内加工食品事業の収益力強化に向けて、商品開発、マーケティング戦略、営業の連携強化、リソースの戦略的投資に取り組んでまいりました。これらの実績と過去に商品企画部門、マーケティング部門における豊富な経験を有していることを踏まえ、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現のために適切な人材として、引き続き取締役として選任をお願いするものです。

候補者番号

3

はいろ よしひさ
葉色 義久

●生年月日 1967年10月6日

新任



- 所有する当社株式の数
700株

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1990年 4月	当社入社	2019年 4月	当社生産調達本部調達部長
2013年 4月	Kagome Australia Pty Ltd.取締役	2020年10月	当社生産調達本部長(現任)
2016年 4月	当社国際事業本部グローバル 品質保証部長	2021年 4月	当社執行役員(現任)

取締役候補者の選任理由

葉色義久氏は、品質管理、調達実務を起点として、海外子会社へ外向し買収後の子会社統合・経営にも携わり、工場経営や国際調達、品質保証に熟達しております。とくに緻密さと戦略性に長け、現在は執行役員生産調達本部長として生産調達体制の変革を牽引しており、カゴメの持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現のため適切な人材として、取締役としての選任をお願いするものです。

候補者番号 4

おくや はるのぶ
奥谷 晴信 ●生年月日 1968年3月17日

新任



●所有する当社株式の数
1,500株

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1990年 4月	当社入社	2016年 4月	当社国際事業本部企画管理室長
2013年11月	当社アジア事業カンパニー 企画調整室長	2021年11月	当社経営企画室長 兼 米国成長 戦略プロジェクト室長(現任)
2014年 3月	当社アジア事業カンパニー CFO 兼 企画調整室長	2022年 4月	当社執行役員(現任)
2015年10月	当社グローバルコンシューマー 事業部企画調整室長		

取締役候補者の選任理由

奥谷晴信氏は、原料、調達実務を起点として、事業開発、海外他社や海外子会社への出向を経て、国際事業に関わる経験・知見を深めてまいりました。とくに全体俯瞰力に長け、国際事業における中核として長く活躍してきたほか、現在は執行役員経営企画室長兼米国成長戦略プロジェクト室長として、全社最適観点から国際事業を軸としたカゴメの成長を牽引しております。カゴメの持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現のため適切な人材として、取締役としての選任をお願いするものです。

候補者番号 5

さとう ひでみ
佐藤 秀美 ●生年月日 1959年2月17日

再任 社外



●所有する当社株式の数
300株
●社外取締役在任期間
7年

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1981年 4月	三菱電機(株)入社	1999年 4月	目白大学短期大学部 非常勤講師
1996年 3月	お茶の水女子大学大学院博士 課程修了、博士号(学術)取得	2015年 4月	日本獣医生命科学大学 客員教授(現任)
1997年 4月	福島大学、放送大学、日本獣医畜産大学 (現日本獣医生命科学大学)非常勤講師	2017年 3月	当社社外取締役(現任)

社外取締役候補者の選任理由および期待される役割

佐藤秀美氏は、食物学に関する多くの研究活動と、長年にわたる食育活動により、食物学や食育に関する豊富な経験と知見を有しており、社外取締役として食を通じて社会課題の解決に取り組むという中長期ビジョンの実現にむけて当社の経営に適切な助言や監督をいただいております。同氏は、社外取締役になること以外の方法で会社経営に関与したことはありませんが、これらのことから、引き続きこれらの役割を期待し、社外取締役として選任をお願いするものです。

候補者番号

6

あらかね

く み

荒金

久美

・生年月日 1956年7月4日

再任

社外



- 所有する当社株式の数
100株
- 社外取締役在任期間
4年

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1981年 4月	(株)小林コーサー (現(株)コーサー)入社	2011年 3月	同社執行役員品質保証部長
1997年 7月	東京大学 博士号(薬学)取得	2011年 6月	同社取締役 (品質保証部・お客様相談室・ 購買部・商品デザイン部担当)
2002年 3月	(株)コーサー研究本部開発研究所 主幹研究員	2017年 6月	同社常勤監査役
2004年 3月	同社マーケティング本部 商品開発部長	2019年 3月	(株)フボタ社外監査役
2006年 3月	同社執行役員マーケティング本部 副本部長 兼 商品開発部長	2020年 3月	当社社外取締役(現任)
2010年 3月	同社執行役員研究所長	2020年 6月	戸田建設(株)社外取締役(現任)
		2021年 3月	(株)フボタ社外取締役(現任)

社外取締役候補者の選任理由および期待される役割

荒金久美氏は、(株)コーサーにおいて、薬学博士として研究開発、商品開発、品質保証の責任者や取締役として経営の執行・監督に携わるなど、企業経営に関する豊富な経験と見識を有しており、社外取締役としてイノベーションを通じた成長の実現を目指す当社の経営に適切な助言や監督をいただいております。これらのことから、引き続きこれらの役割を期待し、社外取締役として選任をお願いするものです。

- (注) 1. 各候補者と会社との間に、特別の利害関係はありません。
2. 佐藤秀美氏および荒金久美氏は、社外取締役候補者であります。
3. 佐藤秀美氏および荒金久美氏は、当社の社外取締役の独立性判断基準を満たしており、(株)東京証券取引所が一般株主保護のために確保することを義務付けている独立役員として届け出ております。当社の社外取締役の独立性判断基準は28ページをご参照ください。
4. 当社は、定款の規定に基づき、佐藤秀美氏および荒金久美氏との間で社外取締役就任時に、会社法第423条第1項の責任について、法令が規定する額を限度とする契約を締結しており、両氏の再任が承認された場合、当社は両氏との間の上記責任限定契約を継続する予定であります。
5. 当社は、取締役全員を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を締結しており、被保険者である取締役がその職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及にかかる請求を受けることによって生ずることのある損害が補填されます。なお、各候補者が取締役に就任した場合は、当該保険契約の被保険者となり、任期途中に当該保険契約について同内容での更新を予定しております。
6. 荒金久美氏の戸籍上の氏名は、亀山久美であります。

第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

監査等委員である取締役3名全員は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、社外取締役2名を含む監査等委員である取締役3名の選任をお願いするものであります。なお、本議案につきましては監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号

1

たかの
高野

ひとし
仁

●生年月日 1964年6月5日

新任



●所有する当社株式の数
12,200株

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1988年 4月	当社入社	2010年 4月	当社アジア事業カンパニー事業統括部長
2005年 4月	当社野菜飲料ビジネス・ユニットディレクター	2014年10月	当社通販事業本部長
2008年 6月	当社執行役員(現任)	2016年 4月	当社名古屋支店長
2008年 6月	当社飲料ビジネス・ユニットディレクター	2017年10月	当社経営企画本部長
2009年 4月	当社コンシューマー事業本部商品企画部長	2018年10月	当社SCM本部長
		2023年10月	当社社長付特命担当(現任)

取締役会への出席状況 —

監査等委員会への出席状況 —

取締役候補者の選任理由

高野仁氏は、営業、商品企画、アジア事業、経営企画、SCMなど、当社の広範なバリューチェーン領域で実績を重ね、現在は執行役員社長付特命担当として、経営課題を推進しております。課題の解決に向け真摯に取り組む、推進する実行力にとくに秀でており、カゴメの持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現のため、豊富な経験と知見を活かした経営への助言や監督機能を発揮できる適切な人材として、取締役監査等委員としての選任をお願いするものです。

候補者番号 2

えんどう たつ や
遠藤 達也 ●生年月日 1959年8月18日

再任 社外



- 所有する当社株式の数 500株
- 監査等委員である社外取締役の在任期間 4年

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1985年 4月	アーサーアンダーセン 東京事務所入所	2002年 7月	朝日KPMG税理士法人 (現KPMG税理士法人)パートナー
1990年 4月	税理士登録	2016年 1月	同法人副代表
1998年 9月	同事務所パートナー	2020年 1月	遠藤達也税理士事務所代表(現任)
		2020年 3月	当社社外取締役監査等委員(現任)

取締役会への出席状況 100%(14回中14回出席) 監査等委員会への出席状況 100%(13回中13回出席)

社外取締役候補者の選任理由および期待される役割

遠藤達也氏は、税理士として、国内外において多数の上場企業の会計監査やM&A案件に参画するなど、企業会計・税務に精通し、企業経営を統括する十分な見識を有しており、社外取締役監査等委員として、当社の経営を監査いただき、また、当社に対する適切な助言や監督をいただいております。同氏は、社外取締役になること以外の方法で会社経営に関与したことはありませんが、これらのことから、引き続きこれらの役割を期待し、社外取締役監査等委員としての選任をお願いするものであります。

候補者番号 3

やまがみ あさ こ
山神 麻子 ●生年月日 1970年1月1日

再任 社外



- 所有する当社株式の数 一株
- 監査等委員である社外取締役の在任期間 4年

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1999年 4月	弁護士登録、太陽法律事務所 (現ポールヘイスティンクス 法律事務所)入所	2012年 7月	名取法律事務所(現ITN法律事 務所)入所(パートナー)(現任)
2005年10月	ウォルト・ディズニー・ジャパン(株) に出向	2015年 6月	武蔵精密工業(株) 社外取締役監査等委員
2006年 5月	日本アイ・ビー・エム(株)に入社	2016年 1月	日本弁護士連合会国際室長
2012年 1月	日本弁護士連合会国際室 嘱託弁護士	2020年 3月	当社社外取締役監査等委員(現任)
		2020年 6月	(株)ニコン社外取締役 (監査等委員)(現任)
		2021年 6月	NECキャピタルソリューション (株)社外取締役(現任)

取締役会への出席状況 100%(14回中14回出席) 監査等委員会への出席状況 100%(13回中13回出席)

社外取締役候補者の選任理由および期待される役割

山神麻子氏は、弁護士として、米国、中国をはじめ国際的に活躍されてきたほか、企業内弁護士としての経験を有するなど、企業法務に精通し、企業経営を統括する十分な見識を有しており、社外取締役監査等委員として、当社の経営を監査いただき、また、当社に対する適切な助言や監督をいただいております。同氏は、社外取締役になること以外の方法で会社経営に関与したことはありませんが、これらのことから、引き続きこれらの役割を期待し、社外取締役監査等委員としての選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 各候補者と会社の間に、特別の利害関係はありません。
2. 遠藤達也氏および山神麻子氏は、社外取締役候補者であります。
3. 遠藤達也氏および山神麻子氏は、(株)東京証券取引所が一般株主保護のため確保することを義務付けている独立役員の要件を満たしており、独立役員として届け出る予定です。なお、当社の社外取締役の独立性判断基準は、28ページをご参照ください。
4. 当社は、定款の規定に基づき、遠藤達也氏および山神麻子氏との間で社外取締役監査等委員就任時に、会社法第423条第1項の責任について、法令が規定する額を限度とする契約を締結しており、両氏の再任が承認された場合、当社は両氏との間の上記責任限定契約を継続する予定であります。
5. 当社は、取締役全員を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を締結しており、被保険者である取締役がその職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及にかかる請求を受けることによって生ずることのある損害が補填されます。なお、各候補者が取締役に就任した場合は、当該保険契約の被保険者となり、任期中中に当該保険契約について同内容での更新を予定しております。

当社は、取締役会のアドバイス機能とモニタリング機能を最大限発揮することで中長期的な企業価値向上を実現させるために、取締役会の構成においては、知識・能力・経験といった面で多様性とバランスを確保しつつ、質の高い審議を行える規模としています。そのために、取締役に必要なスキルとして「企業経営を推進する上での経営スキル」と「カゴメの事業・中期経営計画を推進し、業績向上に繋げるための機能スキル」の計11のスキルを設定しました。スキル保有の認定条件(※)に照らし、各取締役の知識・能力・経験等を踏まえ、保有するスキルを明確にしております。

スキルの分類・項目・定義

分類/項目	定義
企業経営を推進する上での経営スキル	
企業経営	企業経営を行うにあたっての経営管理、ビジョン・戦略構想、リーダーシップにかかる基幹的なスキル
財務・会計	経営資源を適切に管理・運用するとともに、資本市場との良好な信頼関係を構築する
法務・リスクマネジメント	外的環境や事業上発生しうる多様なリスクを的確に把握・評価・対応し、公正かつ適切な経営を行う
人材開発・ダイバーシティ	人的資本を適切に確保・育成し、多様な考えや経験を活かして新しい企業価値の創出につなげていく
サステナビリティ経営	「感謝・自然・開かれた企業」の理念を原点とし、環境や社会の持続可能性に配慮した経営を通じて、企業価値を向上させる
カゴメの事業・中期経営計画を推進し、業績向上に繋げるための機能スキル	
農業・食・栄養	農業農政、食と栄養に対する知識見識に立脚し、課題形成を行う
研究・技術	企業の事業シードを生み出す研究開発・技術開発戦略を推進する
マーケティング・ブランドマネジメント	ブランド価値の管理と効果的なマーケティング戦略を推進する
生産・調達・品質	安定的な原材料の調達と品質第一を担保した商品の製造を的確に推進する
営業・SCM	効率的なサプライチェーンと顧客接点を創造する営業戦略を推進する
グローバル・ビジネス	グローバル環境において経営資源を有効に活用した事業戦略を推進する

※スキル保有の認定基準

- ①企業の社内取締役としての経営経験などを保有すること
- ②当該の専門機能を執行する本部長、または準ずる立場などでのマネジメント経験を保有すること
- ③企業経営の観点から当該の知見や専門知識を活かし、経営に直結した貢献などの経験を有すること

取締役のスキルマトリックス(第1号議案及び第2号議案が承認された場合)

氏名	属性	企業経営を推進する上での経営スキル					カゴメの事業・中期経営計画を推進し、業績向上につなげるための機能スキル					
		企業経営	財務・会計	法務・リスクマネジメント	人材開発・ダイバーシティ	サステナビリティ経営	農業・食・栄養	研究・技術	マーケティング・ブランドマネジメント	生産・調達・品質	営業・SCM	グローバル・ビジネス
山口 聡 代表取締役社長		○		○	○	○	○	○			○	
小林 寛久 取締役 常務執行役員		○			○				○		○	○
葉色 義久 取締役執行役員		○								○		○
奥谷 晴信 取締役執行役員		○				○						○
佐藤 秀美 社外取締役	社外 独立						○	○				
荒金 久美 社外取締役	社外 独立	○		○		○		○	○	○		
高野 仁 取締役 (監査等委員)		○							○		○	○
遠藤 達也 社外取締役 (監査等委員)	社外 独立		○	○								○
山神 麻子 社外取締役 (監査等委員)	社外 独立			○	○							○

第3号議案

補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

監査等委員である取締役が法令で定める員数の要件を欠くときに備え、補欠の監査等委員である取締役の選任をお願いするものであります。本議案による選任の効力は、定款の規定により本決議後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会開始の時までであります。なお、本議案に関しましては、監査等委員会の同意を得ております。補欠の監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者

むらた　　もりひろ

村田　　守弘

●生年月日　1946年7月20日

社外



●所有する当社株式の数
4,000株

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

1970年12月	アーサーヤング東京事務所 入所	2006年　4月	村田守弘会計事務所 代表(現任)
1974年11月	公認会計士登録	2011年　6月	当社社外監査役
1994年12月	東京青山法律事務所入所	2012年　3月	住友ゴム工業(株) 社外監査役(現任、2024年3月 退任予定)
1998年10月	アーサーアンダーセン 税務事務所入所	2016年　3月	当社社外取締役監査等委員
2002年　7月	朝日KPMG税理士法人代表	2016年　3月	コクヨ(株)社外監査役
2004年　1月	KPMG税理士法人 代表社員	2020年10月	一般財団法人カゴメみらいや さい財団理事(現任)

社外取締役候補者の選任理由および期待される役割

村田守弘氏は、公認会計士、税理士として、企業会計に精通し、企業経営を統括する十分な見識を有しており、2020年まで社外取締役監査等委員として、当社の経営を監査いただき、また、当社に対する適切な助言や監督をいただいております。同氏は、社外取締役になること以外の方法で会社経営に関与したことはありませんが、これらのことから、これらの役割を期待し、補欠の社外取締役監査等委員としての選任をお願いするものであります。

(注) 1. 村田守弘氏が理事を務める一般財団法人カゴメみらいやさい財団に対して、当社は年間1,000万円以上の寄付を行っています。

2. 村田守弘氏は、補欠の社外取締役候補者であります。

3. 当社は、定款の規定に基づき、本議案が承認され、村田守弘氏が社外取締役監査等委員に就任する場合、当社は、村田守弘氏との間で就任時に、会社法第423条第1項の責任について、法令が規定する額を限度とする責任限定契約を締結する予定であります。

4. 当社は、取締役全員を被保険者とする役員等賠償責任保険契約を締結しており、被保険者である取締役がその職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任追及にかかる請求を受けることによって生ずることにある損害が補填されます。なお、候補者が取締役就任した場合は、当該保険契約の被保険者となり、任期中に当該保険契約について同内容での更新を予定しております。

監査等委員会意見

監査等委員会は、当社の取締役の選任および監査等委員である取締役を除く取締役の報酬について、報酬・指名諮問委員会での議論の確認を含め、慎重に検討を行いました。

取締役の選任について、指名の手続は適切であり、各候補者は、当該事業年度の業務執行状況および業績、取締役会での発言、これまでの経歴等を評価し、当社の取締役として適任と判断します。また、監査等委員である取締役を除く取締役の報酬について、決定の手続は適正であり、また、報酬体系の考え方、具体的な報酬額の算定方法等から報酬等の内容は妥当であると判断します。

(ご参考)

当社の取締役選任方針

当社は、取締役会のアドバイス機能とモニタリング機能を最大限発揮することで、中長期的な企業価値向上を実現させるために、取締役会を年齢、性別、知識、能力、経験といった面での多様性とバランスを確保した構成としつつ、質の高い審議を行える適正規模にすることが望ましいと考えております。その候補者の選任手続きは、社外取締役が半数以上を占める報酬・指名諮問委員会における審議を経て、取締役会において決定します。

なお、本株主総会においてご選任いただけた場合、取締役会は取締役（監査等委員である取締役を除く）6名、監査等委員である取締役3名の9名で構成されることとなり、そのうち4名が独立社外取締役となります。社外取締役は、それぞれ、会社経営者、学者、税理士、弁護士等の経歴を有し、また、当社の中長期ビジョンにかかげるダイバーシティ経営、経営のグローバル化、食による健康寿命の延伸のために、豊富な経験と知識を有しております。

当社の取締役選任手続き

取締役の指名については、独立社外取締役が半数以上を占める報酬・指名諮問委員会を設置し、取締役会においてその諮問内容を最大限尊重することで、適正性および公正性を確保しております。

当社の独立社外取締役の独立性判断基準

当社において、社外取締役について独立性を有しているという場合には、以下の独立性判断基準を満たしていることをいうものとします。

- ① 現在又は過去においてカゴメグループの取締役・監査役（社外役員除く）、執行役員、使用人でないこと
- ② 現在及び過去5事業年度においてカゴメグループの主要株主（議決権所有割合10%以上の株主をいう）でないこと又はカゴメグループが主要株主の取締役、監査役、執行役、執行役員又は使用人でないこと
- ③ カゴメグループの主要取引先（過去3事業年度のいずれかの年度においてカゴメグループの連結売上収益の2%以上を占めるものをいう）の取締役・監査役（社外役員除く）、執行役、執行役員又は使用人でないこと
- ④ カゴメグループを主要取引先とする者（過去3事業年度のいずれかの年度において取引先のカゴメグループに対する売上収益が取引先の連結売上収益の2%以上を占めるものをいう）の取締役・監査役（社外役員除く）、執行役、執行役員又は使用人でないこと
- ⑤ カゴメグループから多額の寄付^(*)を受けている法人・団体の役員又は使用人でないこと
*過去3事業年度の平均で年間1,000万円以上、又は寄付先の売上収益もしくは総収入の2%以上
- ⑥ カゴメグループとの間で取締役・監査役又は執行役員を相互に派遣する法人の取締役・監査役（社外役員除く）、執行役、執行役員又は使用人でないこと
- ⑦ 過去5年間のいずれにおいてもカゴメグループの会計監査人の代表社員、社員パートナー又は従業員であったことがないこと
- ⑧ カゴメグループから役員報酬以外に多額の報酬^(*)を得ている弁護士、公認会計士、税理士、コンサルタント等でないこと
*過去3事業年度の平均で個人の場合1,000万円以上、法人の場合連結売上収益の2%以上
- ⑨ 上記①～⑧の配偶者、2親等内の親族、同居の親族でないこと
- ⑩ 社外取締役としての通算の在任期間が8年以内であること

注)カゴメグループとは、カゴメ株式会社およびカゴメ株式会社の子会社とする。

株主配当金に関するご通知

当社の第80期剰余金の配当につきましては定款第34条の規定により、2月15日開催の取締役会におきまして、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせ申し上げます。

記

1	株主配当金	1株につき普通配当 41円
2	支払開始日(効力発生日)	2024年3月5日(火)

■ 配当金の受取りについて

同封の「期末配当金領収証」の記載事項をご高覧のうえ、払渡しの間2024年3月5日(火)から2024年5月2日(木)までにお近くのゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口でお早めにお受取りください。口座振込をご指定いただきました株主さまには、「配当金振込先ご確認」のご案内を同封いたしましたので入金をご確認くださいようお願いいたします。

なお、株主の皆さまに「配当金計算書」を同封いたしておりますので大切に保管してくださいませようお願いいたします。

株主メモ

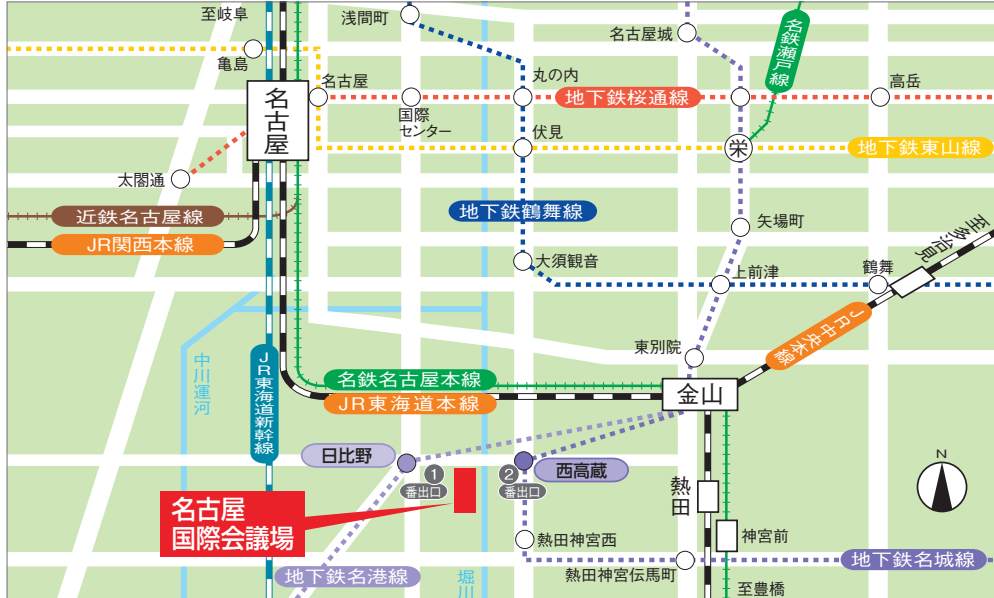
決定時株主総会基準日	期 12月31日 3月 12月31日 その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。
配当金支払株主確定日	12月31日(中間配当制度 なし)
株主名簿管理人(兼特別口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 掲 載	電子公告 https://www.kagome.co.jp/
1単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京・名古屋

株主優待制度	半年以上継続して株式を保有していただいた株主さまに保有株数に応じた株主優待品を贈呈 ※割当基準日(6月30日)とその前年の基準日(12月31日)の株主名簿に同じ株主番号で記載されていることが条件です。 発送予定・・・10月下旬発送 ※お届け先は、割当基準日(6月30日)の株主名簿に登録されているご住所になります。 ※転居等によるご住所の変更は、株式を管理されている口座管理機関(証券会社等)にて速やかにお手続きください。
--------	---

会社法改正により、招集ご通知を簡素化してお届けしています。
株主総会資料全文は、本招集ご通知でご案内のウェブサイト上でご確認ください。
(書面交付請求株主様へは、ウェブサイト上の株主総会資料を法令及び定款の定めにより書面にして同封しております)

株主総会会場ご案内図

会場 名古屋市熱田区熱田西町1番1号
名古屋国際会議場 センチュリーホール
電話 (052) 683-7711



交通のご案内 地下鉄（名港線「日比野駅」下車（①番出口）
（名城線「西高蔵駅」下車（②番出口））徒歩7～8分（会場入口まで約600m）

- 当日は駐車場のご用意ができませんので、公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。
 - 開会間際は受付が大変混雑いたしますので、お早めにご来場ください。（午前9時に受付を開始いたします。）
 - 会場内展示スペースでは、事業の取り組みについてパネルを展示し、当社社員が株主の皆さまにご説明いたします。また、お試し品（商品）のご提供を予定しています。
 - 多くの株主の皆さまのご出席が予想されることから、今年はセンチュリーホールに加えて第2会場を準備しております。センチュリーホールが満席となった場合は、第2会場をご案内させていただきますので、ご了承くださいようお願い申し上げます。
 - 質疑でのご質問は、メイン会場であるセンチュリーホールにてお受けいたします。
 - 今後株主総会の運営に大きな変更が生じる場合は、下記ウェブサイト（カゴメ企業情報トップ＞IR情報＞IRイベント＞株主総会）においてお知らせいたします。
- <https://www.kagome.co.jp/company/ir/events/meeting/>